

apo

Product for clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By CareerPower

株式会社 キャリアパワー

Vol. 85
2020.1 Winter

図書館は、「学問」「知」の象徴として自由に学問を追及できる場所



立正大学 図書館
館長
山本 貴啓様



立正大学 図書館
部長
佐々木 静宏様



立正大学 図書館(品川)
課長
水上 裕子様

Top Interview

巻頭インタビュー

日本国内の数ある私立大学のなかで最も古い歴史と伝統を有し、2022年に開校150周年を迎えられる立正大学。江戸時代の和古書を中心に4万5千冊を所蔵する古書資料館をはじめ、学びの場の象徴として多岐の分野に渡る100万冊に迫る蔵書を誇る歴史ある図書館をもたれています。また、独自にさまざまな企画や展示もおこなわれており、パソコン操作に自信のない方やワンポイントレッスンを受けたい方を対象とした、少人数体制のオンデマンド講習会「りるさぼ」や、「学生協働 りぶたま(図書館の学生アルバイト)」など、学生とも積極的に関わりをもたれ図書館の利用促進に取り組まれています。今回は、立正大学図書館 館長 山本様、部長 佐々木様、課長 水上様にお話をうかがいました。

「モラリスト×エキスパート」を育むため図書館の役割とは。

山 本館長(以下敬称略):立正大学は仏教系の大学としまして、元々は日蓮宗の飯高檀林という学僧を養成する機関が起源となっています。

「ペン」は剣よりも強し!ということばがありますが、図書館は、あらゆる権威や権力に影響をうけず、自由に学問を追求する場所として機能しなければならないと思っております。日本の歴史上には、伝教大師の最澄や弘法大師の空海など有名なお坊さんがたくさんいらっしゃいますが、その中で日蓮上人は、自分の教えを広めようとしたことで迫害を受けた唯一のお坊さんです。当時の鎌倉幕府は、禅宗の宗教を信仰しており、それに対して日蓮上人は法華経を広めようとしたために迫害をうけ、一時は斬首刑を言いわたされます。しかし、刑が執行されようとしたときに江ノ島の方から発光体が飛来し、首を切ろうとしていた武士は怖くなり、刑の執行は中止されたといわれています。

日蓮上人は、命の危険に身を晒されながら、最後まで法華経の広宣流布に自分の生涯を捧げたお坊さんでした。

その日蓮上人の教えを受け継ぐ立正大学において、特に図書館というのは「学問」「知」の象徴として「ペン」は剣よりも強し!ということばを体現する場ではなくてはいけなくないと考えております。

最近、日本において言論の自由が低下していると言われておりますが、学問の自由、言論の自由は、今後未来永劫に渡って保証されなければいけ

ません。例えば、私の子供のころは、新聞などを見ると政治家の風刺画などが掲載されていたものです。我々は有権者ですから、政治に対して意見や批判をすることは当然なのですが、最近はやっと芸能人が、政権に批判的なことを言ったりするとすぐに炎上をして、芸能人のくせにとかわれられたりします。芸能人も芸能人であるまえに、イチ有権者です。現政権に問題点があれば意見することは、あたりまえのことではないといけませんが、現代社会においては、少しでも意見すると叩かれる風潮があります。

また、昨今非常に気になっているのが、連日報道されている、大学入試改革のセンター試験廃止です。英語の民間試験導入を見送り、仕切りなおすことになりましたが、前文科相が東大に英語民間試験を利用させるよう指導を言ったことが判明し問題となっています。

このようなことはあってはならないと思います。学問、研究を追求する主体としている大学の自主性は当然守られるべきであり、いかなる権力や圧力から自由であるべきだと思っております。

このような時代の中で、図書館の役割は「知の象徴」として言論と学問の自由言保証する場所ではなければならない。そのために学生さんに利用していただき、考えて頂ける場として機能していかなければいけないのではないかと考えております。

学生は図書館に足を運び「知」の発見を。

山本:学生により多くの時間図書館を利用してもらえるよう、最近、開館時間を早めまして8時半

から開館するようにいたしました。学生さんからの強い要望もあり、8時半に開館したところ、思った以上に利用者が多く、更に、早朝利用者はうなぎ上りに増えていきました。

1限目は9時開始なのですが、早目に大学に来て準備をしたいなど、ニーズが強いんだなと感じております。それ以外にも職員の努力もあり、図書館の利用状況はかなり増えている状況です。

スマホが普及した現代社会では、ネット検索で専門的な知識までも調べることができます。ただし、苦勞せずに簡単に手に入った情報は、すぐに忘れてしまうものです。昔はインターネットが無かったわけですから、調べようとすると、図書館に実際に足を運び、色々な専門書を紐解き、調べていく中で「これは何だろう?」と更に疑問が深まり、より「知りたい!!!」という知の渴望というものが生じていたものです。やはりそうした過程の中で、苦勞して身につけた知識こそが、自らの血となり肉となり、今後の人生において役立つものとなります。

ですので、学生さんにはもちろんスマホで知識を得ることも、身につけてほしいのですが、必ずしもネットに流れている情報が必ずしも「真」とは限らないということも理解してほしいと思います。

今後、人工知能(AI)が更に発展し、人間の職を奪うと言われております。そんな時代に突入したとしても自分の人生の選択を、人工知能に預けるわけにはいかないので、自ら考える力を身につけていただきたい。専門書に限らず、図書館に足を運び何か興味のあるものを探すと、その中に思わぬ知の発見があるので、自分が興味のなかった

分野でも、何と無く図書館に足を運んで色々手の取っていく中で面白い本に巡り合う。そんな経験も実際あるわけです。本を読み、自分の頭で考え、物事の筋道を立てて論理的に考える、そういった力を身に着ければ、今後の人生の色々な選択とか難局を乗り切っていけるのではないかと考えます。

学生さんには、図書館へ足を運んで頂いてぜひとも自分で考える力をつけていただきたいと思います。

図書館を活用してもらうために現在の取組み「ナイトツアー」や今後について

山本:図書館の未来に関してですが、今後人工知能が益々発達し、2045年にシンギュラリティ(人工知能が完全に人間の知能を超える転換点)に到達するといわれています。弁護士や、会計士、税理士などの現在専門職といわれている職業が人工知能にとってかわり、仕事を失うかもしれないという時代に、「AIに奪われない仕事は何か?何をやっていけばいいか?」を考えなければならぬ厳しい時代になると思います。

最近では、医療分野でも人工知能が発達して、人間の医師よりも正確な判断を下すともいわれています。人工知能がそこまで発展すると、もしかすると、個人の人生の選択を人工知能に委ねる日がやってくるかもしれませんが、現段階では、それはちょっと現実的ではないと思います。

なので、今後も人生における様々な選択(進学や就職、結婚など)において、自分の頭で考えていくという作業は絶対求められます。

また、最近は、小さい頃からスマホやタブレットが身近にあり、本に触れる機会が更に減り活字離れが進んでいます。新聞の発行部数も減少の一途をたどっており、若い人達は新聞も読まなくなっているというニュースも耳にします。やはり、若い人たちに本や活字に慣れ親しんでもらうことは、自分の頭で考えていく力をつける上で非常に重要なことだと思います。

我々としては、活字離れの学生さんを、いかに図書館に引き寄せるかを意識し、職員が、色々な試みを考えております。ナイトツアーやゼミ単位で図書館の資料の調べ方など。図書館への垣根を低くするために、ゲーム感覚を取り入れながら、ゼミ単位で図書館をどうやって活用するかという試みに取り組んでおります。

大学に入学するまでは受験勉強に追われてしまふのが、日本の教育体制の現状です。

受験勉強は、「どうすると点をとれるか?」「与えられた問題をいかに効率的にやるか?」など、受験テクニックだけに終始してしまいがちです。大学に入学後は、定期試験はありますが、受験勉強からは開放され、自分の好きな分野に取り組み、興味のある本を読む時間ができます。これは、大学生にとって、非常に大きな特権かと思えます。

今後は、更に学生さんを図書館に呼び込むために、様々なイベントなどを通じて図書館をより魅力あるものにしていき、図書館を充実するよう取り組んでいくことが必要なのではないかと感じております。

水上課長:先程、館長からも話がありました通り、今年度11月12日限定で図書館ナイトツアーというものを始めました。

ナイトツアーを開始するに至った経緯についてお話しすると、これまでは図書館の利用案内は、授業がある1限から5限までの時間内で、授業単位もしくは、個人参加で対応させていたしておりました。最近の学生さんは授業をたくさん取られていたり、課外活動やアルバイトなどで忙しく、図書館案内に個人参加したいが、なかなか参加できないという声をアンケートなどでいただいております。

これまでは、夜の利用案内は出来ないという先入観があり実施していませんでしたが、逆に、夜なら学生さんは授業もなく落ち着いて参加できるのではないかとという意見もあがりまして、18時と19時の2コマの開催実施を決めました。

コースの種類は6種類をご用意しております。①「開架フロア見学ツアー」(20分)、②「書庫見学ツアー」(10分)、書庫は普段、学部生は入れないので是非こういう機会に入って頂きたいと思っております。

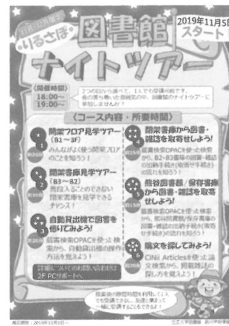
③「本の借り方の基本」としまして、自動貸出機を使って本を借りる場合の検索から始まり書架から出てくる流れ(20分)、④「図書や雑誌の取寄せ」や⑤「熊谷図書館からの図書の取寄せ」、また、少しレベルを上げて⑥「論文の探し方」。この3つの内容をそれぞれ15分から最大長くても25分に設定しコースの中に入れました。参加は1コースのみでも大丈夫です。特定部分だけ参加したいというようなご希望にも応えられるようにコースを分けて開催しております。

先日、2年生の学生さんが、利用したいということで申込みを頂きました。

申込されたコースは「論文を探してみよう」と一番高度な内容でした。1年生の時に図書館利用案内に参加をされておりましたが、団体で参加すると忘れやすいということもあり、今回一人で参加してみてもよく分かったとおっしゃっていただきました。また、スタッフの方(キャリアパワーさんのスタッフ)に質問をした際には、丁寧に説明をしていただいたと聞いております。マンツーマンでおこなう、このナイトツアーは非常に参加しやすかったと声もあり、今年度は11月12日限定で行いましたが、来年度は通年開催にしたいと考えております。他にも授業内での図書館レファレンス担当職員の授業内サポートというものをさせていただいております。先生方のご要望を頂きまして、ゼミ単位でレファレンサーが図書館所蔵の洋古書を紹介し、学生さんに触れてみてもらうというもので、非常に好評です。

やはり、普段の学生生活の中では学生さんは洋書に触れる機会が少ないようです。図書館でも洋書の選定はしてはいるのですが、書架に配架されると、なかなかそこに辿り着けず、院生や研究者くらいにならないと洋書を利用する機会が少ない、というのが現状です。

そうなってしまうと、せっかく大学に入っても4



立正大学
りさば 図書館ナイトツアー

年間のうちに貴重な洋書をましてや古書を学生は知らないまま卒業してしまうこととなります。それはもったいないという先生方からの声もあり、内容が分かる、分からないというのは別として、まずは本に触れてもらうことから始め、そこから何かを感じ、発見してもらえればと思い、図書館が人的サポートをさせていただいております。参加した他の学部の先生からは、「うちの学生もお願いします。」という追加注文もいただき、来月開催する予定です。

先生に評価していただけたことを、他の先生方にも広めていただき、更に図書館でサポートさせていただければという思いで、日々向き合っています。

今後の展望といいますが、こんなことをしたいなど課員と考えていることもあります。これまでの図書館は、学生に対しての学習支援は、だいぶ定着してきていると思っておりますが、更に上の院生や研究者、先生方への研究支援の部分は、まだまだ当館は弱く感じております。

広報も足りないと思うのですが、人的サポートというものも含め、研究者、院生以上であれば受けられるサービスであるとか、そういったものを、きちんと広報して、十分に図書館を利用しただけのような研究支援というものに力を入れていきたいと思っております。具体的には、研究支援ハンドブックなどの発行物を出したいという思いもあります。

また、冊子だけでなく、今はインターネットも普及しておりますので、図書館に来なくても自宅にいても申し込めるサービスもさらに充実させていきたいと思っております。

業務委託を利用するメリットとは…

山本:図書館の業務というのは、非常に専門性が高い業務です。新卒の人を採用し、イチから教育して育てていくことは、非常に時間も手間もかかり労力がかかります。そうしたところを、貴社のような専門性を持った会社に業務委託することにより、安心してお任せでき、Win-Winの関係です。

働き方改革が言われる昨今ですが、図書館も最近時間が遅くなってきております。また、他の大学さんだと日曜日開館されているところもあります。それを正規の職員の方でやるとなると残業はもちろんシフト制にして夜勤いたり、土日に交代で出勤をする必要がでてしまいます。シフト調整など、非常に大変な面もありますので、そこをキャリアパワーさんに業務委託でお任せすることで、我々としても職員の負担も減らせることとなります。

それに加え、専門性が高いことも非常に助かっています。

教育や研修体制が非常にしっかりされており、ノウハウもしっかりお持ちなので、専門性の高い労働力を我々のほうでも活用させていただけるといった点では、非常に有難く思っております。

今後、キャリアパワーに期待されること

佐々木部長:大学の中でこれだけ大規模、かつ人が多く入って委託しているという点では、多分図書館が一番大きいものとなります。

また、図書館の業務委託は、成功事例として継続できているものと感じています。

立正大学は『「モラリスト×エキスパート」を育む。』というブランド戦略を掲げていますが、図書館というのはまさに「モラリスト×エキスパート」を育む象徴的な場所なのかなと思っています。その中で働くスタッフの皆さんに関しても、学生はエキスパートとして求めていることが当然あると思います。たくさんのスタッフの方がいて、平準化するという事はなかなか難しいと思うので

ですが、今そうしていただいているように、今後も引き続き、エキスパートという部分を、求められているところを考えながら業務にあたって頂きたいなと思います。さきほど、館長や課長から話があったように、図書館に求められる機能というのは、減ることはなく、どんどん増えていくことになります。例えば、開館時間の長さや、開館日のこと、今

やっているガイダンスツアーなど、様々なものがあると思うのですが、職員だけでは出来ないというところが非常に大きいので、そういった部分を今後とも協力いただけたらなと思います。先程、館長が「Win-Win」とおっしゃっていましたが、でも、「Win-Win」という形をどんどん広げていけたらなというふうに思います。今後ともよろしくお祈りします。

■ Interview

スタッフインタビュー

-「いつか図書館で働けたらいいな」が現実に!!毎日充実しています。-

今回は、東京都町田市にあり、経済経営や心理教育学から芸術まで幅広く学べる大学の図書館でサプリーダーとして勤務いただいている佐藤よもぎさんにお話を伺いました。キャリアパワーへの登録のきっかけから現在のお仕事について、趣味や休日の過ごし方にいたるまで多岐にわたって語っていただいております。



東京都町田市
私立大学図書館勤務
佐藤 よもぎ様

「いつかは図書館で働きたい」あこがれの図書館勤務の第一歩としてキャリアパワーに登録しました。

まずキャリアパワーさんに登録したきっかけですが、以前から図書館で働きたいなと思っておりまして、求人を探していたときに見つけたのがキャリアパワーさんでした。すぐには働けなくても「いつかは図書館で働きたい!働ければいいな」と、願掛けの意味も込めて登録をいたしました。登録に行った時には、すぐに働けるとは思ってもおらず、図書館のお仕事がこんなにたくさんあるキャリアパワーさんならいつか夢がかなえられるかなと感じ、まずは最初の一步のつもりでした。

転職を機に、一人暮らしもスタート。仕事もプライベートも希望がかないました!!

転職を機に、一人暮らしをはじめたいなと思っており、次の仕事を探す希望の条件としては、住みたいと思っていたエリアから近く、電車1本で通勤でき、かつフルタイムのお仕事でした。そんな時に、キャリアパワーさんに登録していたことを思い出し、「もしかしたら、希望にあったお仕事があるかも?」と思い連絡したところ、今の職場をご紹介いただきました。こんなに早く図書館勤務が実現するなんて、思ってもいませんでした。

「図書館の顔」であるメインカウンターでのお仕事は、とても楽しく、「働いている」実感を日々かみしめています。

選考の際は、とにかく緊張しておりましたが、応募後はとんとん拍子に進み、図書館で勤務することになりました。本当に毎日楽しくお仕事させていただいております。大げさかもしれませんが、今の仕事は自分にとって「生きがい」といっても過言ではないなとも思っております。業務内容は、図書館のメインカウンターの仕事をさせていただいております。メインカウンターは図書館の利用者の方が来館された際に、図書館の顔となる場所だと思っており、「図書館の印象を左右する場所で働いている」という自覚を持って業務に就いております。

責任感のあるポジションで、最初は不安もありましたが、職場の先輩や営業さんに支えていただきながらがんばっています。

今の職場をご紹介いただいたときに、サプリーダーとして入っていただきたいとお話をいただいております。入社直後からサプリーダーとして働くことは、「いきなり責任が重く、自分にはつとまるのだろうか?」と不安も大きかったのですが、先輩や営業さん、周囲の方々に支えていただきながらなんとかやれております。サプリーダーとして働くうえで大切にしていることは、業務の正確性はもちろん、利用者の方と直接接する業務ですので、問い合わせに対する対応も気をつけております。たとえば、問い合わせを受けた際の言葉遣いや、利用者の方の質問を落ち着いて最後まで聞くことを心がけています。問い合わせを受けた時、「早く質問に答えなきゃ」とつい焦ってしまうので…

このような意識もあってか、「働いている!!」という実感が前職より強く、毎日充実しています。

休日は、美術館や博物館、文学館などに出かけています。お昼休みに美術書を読むのも大好きな時間です。

休日は、外に出かけることが好きで、美術館や博物館などあちらこちらに出かけております。美術の展示ですと印象派の絵が好きで、先日モルノワールを見に、横浜美術館に行ってきました。今の職場は、芸術課があるので、美術関連の本がたくさんあり昼休みについて読みふけております。とにかく文字が大好きで、何かを読んでいるときが落ち着くので、本屋さんに行き、買って読むを繰り返すのも好きな時間です。

キャリアパワーのみなさんは、とても親身に相談にのってくれて、一緒にがんばってくれる頼れる存在です!!

今回、実際に就業するまで、キャリアパワーのいろんな方に相談にのっていただいたのですが、とても親身に相談にのっていただき、一緒にがんばってくださいました。応募後は、迅速に対応していただき、まめに連絡をくださったり、応募したものと似たような求人をお知らせいただいたり、すごくチカラになりました。相談がしやすく、色々とお世話になっており、すごく満足しております。ステキな職場をご紹介いただき、ありがとうございます!!

■ Information

● ご存知ですか? キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe…」わたしたちキャリアパワーの信じるところ。その想いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の心に、私たちの想いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その想いを留めてほしい。ずっと変わらぬ想いでお届けしています。ぜひ愛読ください。

ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

TEL 0120-288-450 E-mail info@careerpower.co.jp

■ Support Center News

学術サポートセンター通信 Vol.XI

図書館における蔵書点検



図書館における業務の1つに「蔵書点検」があります。

「蔵書点検」とは、図書館に所蔵されている資料が実際に図書館内にあるのか調べる作業です。

「棚卸し」というイメージしやすいのではないのでしょうか。蔵書点検を行うことで、所蔵データを現物と一致させることができ、所在が一致しない資料があれば館内を探索します。発見されれば、所蔵データを確認し、正しい位置へ排架します。

そうして、館内の所蔵状況を整理することで、図書館の財産である資料を正しく把握し、利用者が図書館を利用しやすくします。図書館において大変重要な作業になります。

● 蔵書点検作業について

蔵書点検を行う前に、作業計画を立てます。多くの図書館は1年に1回もしくは数回に分けて蔵書点検を行います。図書館の規模が大きいと1年で全資料を点検できないため、数年かけて全資料を点検したりします。また、蔵書点検を実施する間、閉館する場合がありますが、開館しながら行う館もあります。どちらにしても、利用者の利用の妨げになるため、事前に告知を行います。

・ 蔵書点検作業は次のような順番で行います。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ① 書架の整理を行う | ④ リストの資料を搜索する |
| ② 書架の資料を調査する | ⑤ 搜索後、発見された資料は所定の位置へ戻す |
| ③ 不明になっている資料をリスト化する | |

もう少し詳しく説明すると、

- ① 書架の調査前に資料の並びを整理します。資料が棚の奥に入りこんだり、棚の下に落ちていたりすることもあるので、この時点できちんと並べておくと、次の調査がしやすくなります。また、不明資料を少なくすることができます。
- ② 調査は、携帯用のスキャナーを使って、資料の資料番号(バーコードなど)を1冊ずつスキャンしていきます。書架の一番上から一番下まで、1段ずつ読みもれがないように注意しながら作業をします。体力と集中力を使います。この時に資料の状態が悪い、破損・汚損している資料は抜き出して修理を行います。
- ③ スキャンしたデータを所蔵データと照合させ、所在が分からない資料を抽出します。この時、貸出中の資料についても、データに反映させ不明資料にならないようにします。
- ④ 抽出された不明資料を搜索します。①で整理していても、整理できていなかった資料もあります。再度、棚の奥や下に落ちていないか、別の場所に排架されていないか、など図書館員が身体と経験を使って探します。
- ⑤ 見つかった資料のデータを修正し、所定の位置に戻します。見つからなかった資料は、「不明」とし、所蔵データと現物の所蔵状態を一致させます。不明の資料は引続き搜索を続けますが、発見できなかった場合は、「除籍」を行います。これもすぐに「除籍」するのではなく、一旦データを「不明」とし、蔵書点検を数回実施しても発見されなかった場合に行います。

● こんな方法もある!?

図書館の規模によりスキャナー以外の方法で蔵書点検が行われることがあります。



目視で確認

所蔵データをリスト化し1冊ずつ目視でチェックします。

まだ、図書館システムが開発されていない頃は、どの図書館でもこの方法でおこなわれていました。もちろんOPACもありませんので、読みたい本があるときは目録カードで探していました。

IC タグで一気に!?

資料をICタグで管理している場合は、ICスキャナーで書架を一気に読み込みます。ハンディスキャナーでは1冊ずつ資料番号を読み込ませますが、ICスキャナーの場合は、書架の前に立ち、スキャナーで棚をなぞるように動かします。タグから出ている電波を受け取るだけでいいので、スキャン時間がかかり短縮されます。ただし、書架が金属の場合、支柱近くの資料は電波が阻害されることがあり、細い資料が数冊固まっている場所は全て読み取ることができないことがあります。また、1冊ずつスキャンをするとスキャン順にデータを確認できますが、ICタグの場合は、スキャンしたデータの範囲でしか確認ができないため、不明等の資料確認にはとても時間がかかってしまいます。

蔵書点検は図書館員にとって1大イベントになります。作業の大変さだけではなく、所蔵データを正確にすることで、いつもの業務でいかに不明本を出していないかが分かります。自分達の業務の見直すきっかけにもなります。

蔵書点検は図書館運営において、重要な作業だと分かっていたら良かったですか。



蔵書点検のことを「曝書(ばくしょ)」ということがあります。

「曝書」とは、『書物を風に当てたり、日にさらしたりすること。虫干し。(三省堂『大辞林』第三版より)』です。

昔は虫干しをしながら、資料の確認を行っていたそうです。現在では、薬剤を使って防虫や防菌をされることが多いです。

■ Information

図書館総合展&わたしの図書館(本)川柳コンテスト



第21回「図書館総合展」に出展いたしました!!

2019年11月12日(火)~14日(木)

パシフィック横浜 展示ホール/アネックスホール他

今年も図書館総合展に出展し、キャリアパワー主催のフォーラムを開催させていただきました。

おかげさまで多くの図書館関係者の皆さまにご参加いただき、大盛況のうちに終了となりました。



【フォーラム】

「これからの大学教育の価値とは ~総合学園の観点からみる、大学教育と図書館のあり方~」

学校法人立命館常務理事の西川幸穂様を講師としてお招きし、未来予測が難しいこの時代に、大学教育に求められる役割、大学図書館が果たすべき役割とは何かについてご講演いただきました。日本の人口構造が大きく変わる中で、18歳人口だけを意識する大学でいいのか、という問題提起からはじまり、現状の延長線上での成長を考えるのではなく、新しい価値を作り出し発展していかなければならないなど、今後の大学教育について深く考えさせられる90分となりました。インターネットだけでも学べる時代、大学というリアルな場で学ぶ意味とは何なのか、小学校や中学高等学校でもすでにアクティブラーニングや反転授業が取り入れられている状況で、大学はその変化についていけているのか、選ばれる大学になれているのか、等、鋭い視点で次々と繰り出される内容に、皆様真剣に聞き入っておられました。



【ポスターセッション】

追手門学院大学「インターンシップ生が新キャンパスを紹介!」

昨年引き続き、イベント企画のひとつである「ポスターセッション」に参加しました。追手門学院が2019年春に新しくオープンした大阪茨木キャンパス内にある『ALUMNI LIBRARY(アラムナイ・ライブラリー)』について、学生目線で紹介。追手門学院大学では、「インターンシップ・スチューデント・ジョブ」という大学独自の制度があり、学生が体験型のプログラムを中心に、年間を通じて活動しており、ビジネス現場などで幅広く活躍しています。新しい図書館の魅力、クイズを交えながらポスターでわかりやすくお伝えしました!

第1回「わたしの図書館(本)」川柳コンテスト最終投票をおこないました

~ 応募総数 4,786 作品 ~
852 名に投票いただきました!!



図書館総合展キャリアパワーブースに、たくさんの方に来ていただきました!!

キャリアパワーブースでは、図書館業務委託をはじめとする各種サービスをご紹介するとともに、第1回「わたしの図書館(本)」川柳コンテストの最終人気投票を行いました。4,786作品の応募作品から選ばれた入選13作品をブース内に掲示し最終投票を行いました。たくさんの方が投票にきてくださり、ブースは大盛況でした。852名の方に投票をいただき、最優秀作品が決定いたしました。

最優秀賞(1句)

川柳作家：九(いちじく)さん
わあショック 真犯人を 囲う丸

優秀賞(3句)

川柳作家：魚春さん
読み切れず 目指せ読破と また借りる

川柳作家：しんちゃんさん
君のせい 借りてしまった 読めぬ本

川柳作家：そらみんさん
母となり 絵本の君に また会えた

川柳作家：クローバーさん
子供より 親が真剣 借りる絵本

川柳作家：バシさん
色褪せた 貸出カードに 父の名が

川柳作家：減点パパさん
変わる世に 変わらぬ時間 図書館で

川柳作家：あんずさん
レシートが しおり代わりの 料理本

川柳作家：ケタちゃんさん
家よりも なぜか落ち着く 本の中

川柳作家：西野 都子さん
変わりたい 自分があるのは 本の中

川柳作家：酒乱Qさん
古希が読む 十五少年 漂流記

川柳作家：ナンサンさん
おさなごに 絵本読みつつ ママ眠る

川柳作家：たくみさん
想い出と 共に我が子へ 読み聞かす

入賞(9句)

Information

追手門学院大学 施設見学



追手門学院大学 大阪茨木総持寺キャンパス 施設見学セミナー開催

12月13日(金)、追手門学院大学大阪茨木総持寺キャンパスにおいて、「キャリアパワー学びの図書館紀行」施設見学セミナーを開催いたしました。

第1部では追手門学院大学図書館・メディア部長の湯浅俊彦様より、図書館や出版業界における電子化の状況や、それに対する追手門学院図書館の取組みについてご説明をいただきました。第2部では、2019年春にオープンした新キャンパスを見学。WILホール、ディスカバリープロムナード、アナライムライブラリー、教室等、ディスカッションやプレゼンテーションを意識した学びを支えるキャンパスと図書館に、参加者の皆様からは多くの声があがっていました。その後、行われた質疑応答、意見交換会でも、図書館の運営や、電子図書館への取組み、活発な質疑および意見交換がなされました。これまでの図書館の概念を覆す資料の配置や施設の設計を肌で感じる事ができた1日となりました。

第17回京都学生祭典

Information

今年も、第17回京都学生祭典を応援しました!!



10月13日(日)、京都平安神宮一帯で第17回京都学生祭典が開催されました。キャリアパワーは、この祭典を第1回目から応援しており、今年も京都最大級の学生の祭典をバックアップいたしました。

今年は前日の台風の影響により、内容を一部変更しての開催となりましたが、会場は開始直後から多くの来場者でにぎわいました。各所に設けられた特設ステージでは「京炎そでふれ! 全国おどりコンテスト」や「Kyoto Student Music Award」などが行われ、また、グランドフィナーレでは、各コンテスト優勝チームによる演舞演奏や、全員参加の総おどりなど、熱気に包まれた一日となりました。

京都学生祭典とは?

2003年から毎年10月、平安神宮前・岡崎プロムナード一帯のステージで繰り広げられ、毎年来場者数が10万人を超える一大イベントです。京都は、人口の1割を学生が占める全国でも有数の「学生のまち」です。京都の大学生だからできる、学生プロデュースのお祭です。(京都学生祭典HPより)

Information

人事労務 最新トレンドセミナー

人事労務最新トレンドセミナー開催

— 2020年派遣法改正で派遣活用はどう変わる?派遣先企業が対応すべきポイントとは —



11月27日(水)、人事労務最新トレンドセミナーを開催いたしました。今回のテーマ「2020年派遣法改正で派遣活用はどう変わる?派遣先企業が対応すべきポイントとは?」について、講師に社会保険労務士の中宮伸二郎氏をお迎えしご講演いただきました。

2020年4月の派遣法改正のポイントのひとつである「同一労働同一賃金」。これは非正規雇用労働者と正規雇用労働者での待遇格差の解消を目的としたもので、2020年4月からすべての派遣スタッフについて対応が求められています。2020年4月以降、派遣スタッフの賃金はどのように決まるのか、派遣会社との契約はどのように

変わるのか、派遣先企業として準備しないといけないことなど、2020年4月以降の派遣活用についてわかりやすく解説いただきました。派遣法の変更点から、賃金や待遇面での変更事項、派遣先として実際に講じなければならない措置まで、具体的にお話をいただき、ご参加いただいたみなさまから「大変参考になりました!」ととてもわかりやすく理解を深めることができました。参加してよかったとお声を多数いただきました。

キャリアパワーでは、今後も皆様の声にお応えして、さまざまなセミナーを開催してまいります。

法令遵守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が出来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会

TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール 0120-154-450 にお気軽にお問合わせください

東京：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F
 大阪：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F
 名古屋：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F
 京都：〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通丸西入東堀小路843-2 日本生命京都ヤサカビル 4F
 滋賀：〒525-0025 滋賀県草津市西沢川1-1-3 リバティハウス4F
 システムセンター：〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911
 TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268
 TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511
 TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828
 TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200
 TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行
 株式会社 キャリアパワー
 企画/制作
 株式会社 キャリアクワイエット
 2020.1.15発行